

診断機能を内蔵した小型の単光軸セーフティライトバリア SLB

新しく誕生した SLB 240/440/450 シリーズセーフティライトバリアは、診断機能を内蔵し、驚く程小さな外形寸法です。SLB 240/440 はケーブル接続仕様の外形寸法が 28mm×32mm×長さ 72mm で、コネクター仕様が 28mm×32mm×長さ 91mm で、限られた空間に素早く、簡単に設置出来ます。これらのモデルは検出距離が 15m、一方 SLB 450 (49mm×49mm×長さ 126mm) は検出距離が 75m の特徴を持っています。

SLB 240/440/450 の主な利点の 1 つは、組立/搬送の処理センターや、木工、紙業、印刷業界や高棚倉庫、梱包機械等、幅広い用途に使う事が出来ると言う事です。

単光軸のセーフティライトバリアは、特にプリント基板組立機械(マウンター)等危険領域が小さな開口部に限られた場所の保護に役立ちます。

工程保護にも適しています。

全ての SLB ライトバリアは半導体出力 (PNP2 回路) を装備しており、専用のコントローラーを設置する事なく、安全回路に組み込む事が出来ます。IEC 61496 に基づき、新しい製品群は全てのタイプ 2 又はタイプ 4 の要求事項に適合しています。こ

れらは例えば高棚倉庫に使用され、此处では予め設定された位置や高さの記録により、位置ズレを検出し、衝突や損傷を防止します。

検出距離が 75m までの SLB 450 タイプでは、オプションでヒーターを内蔵しており、非常に低温下 (-30° まで) での使用が可能です。つまり木工やセメント産業、或いは砂利ピットやドックなど、屋外で使用出来る事を意味しています。



ビジュアルな設定ガイドにより、試運転が簡単に

全てのバージョンがビジュアルな設定ガイドを装備しており、試運転が驚く程簡単に出来ます。又同時に、これらは 4 通りのコード化レベルを有しており、複数のライトバリアを 1 つのアプリケーションで使用する際、4 対のセンサーを互いに干渉する事無く、同じ方向に設置出来ます。

設定には PC や試運転システムと言ったツールは必要なく、押しボタンなどのコマンド機器が簡単に使えます。設定、自動及びリセットモード、診断モードなどを備えています。



本件、お問い合わせは、SCHMERSAL 日本支社迄。